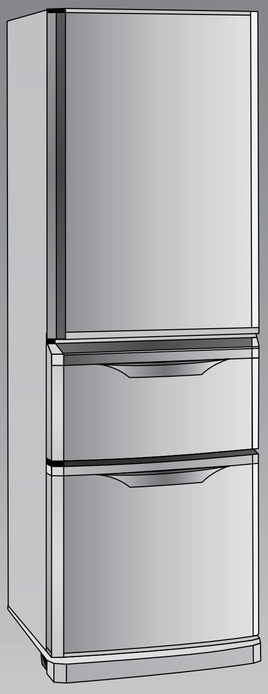
MITSUBISHI ELECTRIC

三菱冷凍冷蔵庫

取扱説明書

形名

MR-C34Y（エムアール シー ワイ）　MR-C37Y（エムアール シー ワイ）



ご使用時のよくある質問は、三菱電機FAQページでもご覧いただけます。

［三菱電機　FAQ］［検索］

ノンフロン冷蔵庫

■この冷蔵庫にはノンフロン冷媒とノンフロン発泡断熱材を使用しています。ノンフロン冷媒（イソブタン）とノンフロン発泡断熱材（シクロペンタン）は、オゾン層を破壊せず、地球温暖化に対する影響が極めて小さい、地球環境に配慮した物質です。

もくじ

		ページ
ご使用の前に	安全のために必ずお守りください	2-3
	設置から運転開始まで	4
使いかた	温度調節のしかた	5
	各室の使いかた（冷蔵室・スライド室／野菜室・冷凍室／自動製氷機）	6-9
お手入れ	付属品のはずしかたとお手入れ	10-11
	自動製氷機のお手入れ	12
困ったときに	こんなときは（停電・長期間使わないとき・運搬）	13
	故障かな？と思ったら	14
	保証とアフターサービス	15
仕様		16

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
  特に「安全のために必ずお守りください」は、必ず読んで正しくお使いください。
- 「保証書」は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

■この冷蔵庫は一般家庭での食品の冷凍・冷蔵保存の目的で作られた製品です。
業務用には業務用冷蔵庫をお使いください。
業務用に使用されたときの故障および損傷は、保証期間内であっても有料修理となります。

■写真・イラストはMR-C37Yです。MR-C34Yは、容量、寸法はちがいますが、使い方は同じです。

■再資源化のため、主なプラスチック部品には材料名を表示しています。

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.　No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

⚠注意

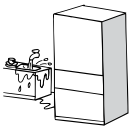
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

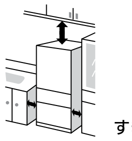
■図記号の意味は次のとおりです。

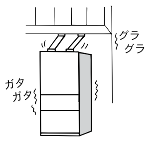
禁止記号	絶対に行わない
接触禁止記号	絶対に触れない
分解禁止記号	絶対に分解・修理・改造はしない
水ぬれ禁止記号	絶対に水をかけたり、水でぬらさない
ぬれ手禁止記号	絶対にぬれた手で触れない
指示記号	必ず指示に従い、行う
アース接続記号	必ずアース線を接続する
プラグを抜く記号	必ず電源プラグをコンセントから抜く

■異常および不具合が発生したときは、ただちに運転を停止し、「お買上げの販売店」または「三菱電機ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。15ページ

設置時

屋外、水のかかる所や湿気の多い所に設置しない
絶縁不良により、感電・火災の原因になります。
4ページ

水ぬれ禁止

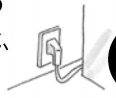
冷蔵庫の周囲はすき間をあけて設置する
冷媒が漏れたときに滞留し、発火・爆発のおそれがあります。
4ページ

すき間をあけて

地震にそなえて丈夫な壁や柱に固定する
冷蔵庫が倒れてケガの原因になります。
4ページ


転倒防止

湿気の多い所、水気のある場所で使うときはアースおよび漏電遮断器を取り付ける
販売店にご相談ください。
4ページ

アース線接続

電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う
延長コードの使用、タコ足配線は、発熱・火災の原因になります。
4ページ

100V・15A以上

電源プラグはコードを下向きにし刃の根元まで差し込む
逆に差し込むとコードに無理がかかり、発熱・発火の原因になります。

コードは下向き

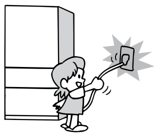
電源・電源プラグについて

電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない。電源コードを傷つけない
押し付けたり、重いものを載せたり、折ったり、束ねたりすると、感電・火災の原因になります。

禁止

傷んだコードやプラグ、差し込みがゆるいコンセントは使わない
感電・発火の原因になります。

使用禁止

電源プラグはコードを引っ張って抜かない
コードが傷み、感電・発火の原因になります。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

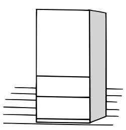
電源プラグのホコリを定期的に取る
絶縁不良になり、火災の原因になります。

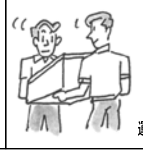
ホコリを取る

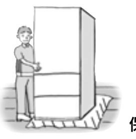
お手入れのときは、電源プラグを抜く
感電・ケガの原因になります。

プラグを抜く

設置・運搬

床が丈夫で水平な所に調整脚でしっかり固定する
冷蔵庫が移動し、ケガの原因になります。
4ページ

水平に設置

運搬するときは、運搬用取っ手を持つ
他の部分を持つとケガの原因になります。
13ページ

運搬用取っ手を持つ

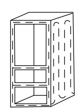
移動するときは、床の傷つきや身体のケガに気を付ける
保護用のシートを敷いて、ゆっくり動かしてください。

保護材を使用

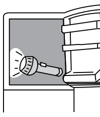
食品を無理に詰め込まない
棚を強く引き出さない
食品が落下し、ケガの原因になります。

禁止

⚠警告

ご使用にあたって

冷蔵庫の冷媒回路（配管）を傷つけない、ねじなどを打たない
可燃性冷媒を使用していますので、発火・爆発のおそれがあります。

禁止

庫内では電気製品を使用しない
庫内に冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花で発火・爆発のおそれがあります。

禁止

揮発性の引火しやすいものを入れない
ベンジン、化粧品、整髪料は、引火・爆発の原因になります。

保存禁止

薬品や学術試料を保存しない
厳しい管理が必要な物は、家庭用冷蔵庫では保存できません。

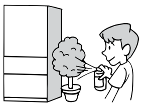
保存禁止

冷蔵庫の上に物を置かない
ドアの開け閉めなどで落下し、ケガの原因になります。

禁止

ドアやハンドル（取っ手）にぶらさがらない、開いたドアに乗らない、大きな荷重をかけない
冷蔵庫が倒れてケガの原因になります。

禁止

可燃性スプレーは近くで使わない
電気接点の火花で引火・火災の原因になります。

使用禁止

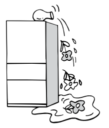
小屋や車庫などで使用しない
小動物により、電気配線を傷つけられると感電・火災の原因になります。
使用禁止

ドアを開け閉めするときは、ドアが周囲の家具などにぶつからないようにする
ドアや家具が破損してケガのおそれがあります。
禁止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない
使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
禁止

自動製氷機の機械部（貯氷箱の上部）に手を入れない
ケガの原因になります。

接触禁止

水を入れた容器を上に置かない
電気部品にかかると感電・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

水洗いしたり、食汁をこぼさない
水・食汁がかかると、感電・火災の原因になります。すぐに拭き取ってください。

水かけ禁止

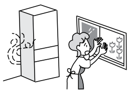
ガス漏れに気付いたら冷蔵庫に触れず、窓を開けて換気する
電気接点の火花で爆発・火災の原因になります。

換気する

故障・長期保管について

分解・修理・改造をしない 部品が破損した状態のまま使用しない
ケガ・感電・火災の原因になります。

分解禁止

冷媒回路（配管）を傷つけたときは、冷蔵庫に触れず火気の使用を避け、窓を開けて換気する
冷媒回路を傷つけたときは、販売店にご相談ください。

換気する

長期間使わないときは、電源プラグを抜いてから、ドアを開けて乾燥させる
乾燥が不十分なときは、冷却器腐食による冷媒漏れの原因になり、発火・爆発のおそれがあります。
乾燥させる

異常時（焦げくさいなど）は、電源プラグを抜き、運転を中止する
異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

リサイクルするときは

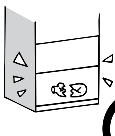
保管するときは、必ずドアパッキングを引っ張ってはずす
幼児が閉じ込められるおそれがあります。

パッキングはずす

廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
放置し、冷媒漏れが発生すると、火気による発火・爆発の原因になります。
引き渡す

⚠注意

ご使用にあたって

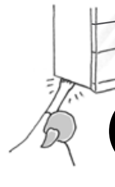
冷凍室にビン類を入れない
中身が凍って割れると、ケガの原因になります。

保存禁止

におったり、変色した食品は食べない
食中毒や病気の原因になります。

禁止

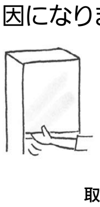
ドアを開け閉めするときは
- 他の人が触っているときは開け閉めしない
- 引き出し式ドア上面に指をかけて閉めない
- ドアを強く開け閉めしない
  （食品の落下により、ケガをするおそれがあります）
- 指など身体の一部を挟まない
- 身体の一部をぶつけない
- 下の引き出しで足を挟まない
  （指詰めのおそれがあります）

禁止

冷蔵庫の下に手、足を入れない
鉄板などでケガをする原因になります。

接触禁止

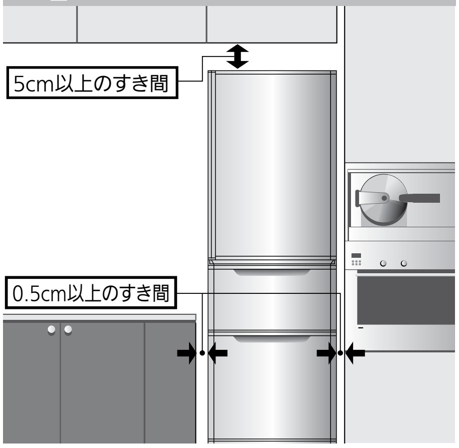
ぬれた手で冷凍室の食品や容器に触れない
凍傷の原因になります。

ぬれ手禁止

ドアは取っ手を持って閉める
指を挟まないように持ってください。ケガの原因になります。

取っ手を持つ

設置から運転開始まで

1 設置



設置場所は

日陰で、熱気の当らない風通しのよい所
冷却力の低下を防ぎ電気代を節約。

湿気が少ない所
さびの発生・感電・火災の防止。

丈夫で水平な所
振動・騒音・半ドア・ドア下がりの防止。
質量や熱による床材の変形・変色の防止。
●冷蔵庫の脚が沈みやすい床材には、下に丈夫な板を敷いてください。

他の機器から離れた所
テレビなどへの雑音、映像の乱れを防止。

指示を守る	**冷蔵庫の周囲はすき間をあけて設置する** 冷媒が漏れたときに滞留し、発火・爆発のおそれがあります。

周囲に放熱スペースをあけて

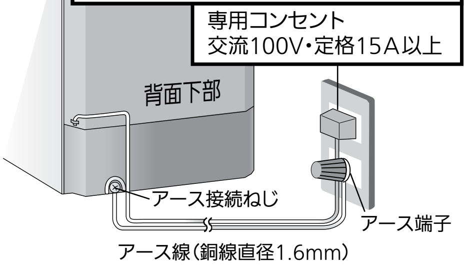
左右0.5cm以上、天井5cm以上あけることができる所
天井や側面からの放熱スペースを確保。

本体外側は熱くなります
放熱するため、使い始めや夏場は約50～60℃以上になることもあります。

温泉地区などでのご使用について
腐食性ガスの発生により、冷媒回路（配管）の防錆処理が必要な場合があります。お買上げの販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

2 電源を入れる・アース

より早く冷やすため、
電源は設置後すぐに入れてください



電源は冷蔵庫専用で

100V・定格15A以上の
コンセントを単独で使用する

万一の感電事故防止のために、アースすることをおすすめします

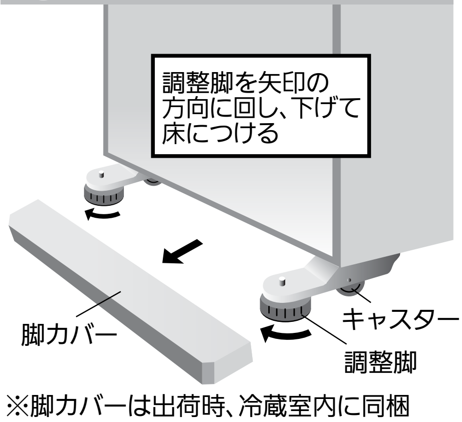
土間・洗い場・地下室など特に水気や湿気の多い場所で使うときは、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。設置についてはお買上げの販売店にご相談ください。

アース端子がある場合
アース線をアース接続ねじ（⏚ 記号）とアース端子間に接続する。なお、アース線（銅線直径1.6mm）はお買上げの販売店などでお買い求めください。

アース端子がない場合
お買上げの販売店に依頼し、アース工事をしてください（D種接地工事・有料）。

アース接続してはいけない所
●水道管・ガス管（感電・爆発の危険）
●電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

3 調整・固定



※脚カバーは出荷時、冷蔵室内に同梱されています。

調整脚を床につくように回し、下げて前キャスターを浮かせ固定する

振動・騒音・移動・半ドアの防止。

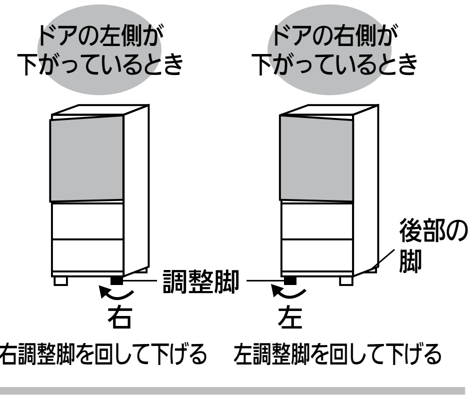
指示を守る	**床が丈夫で水平な所に調整脚でしっかり固定する** 冷蔵庫が移動し、ケガの原因になります。

調整脚で傾きを直せないとき

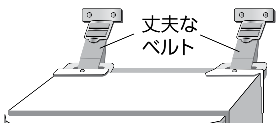
部屋の隅などに設置すると、後部の脚の一方が床に沈み傾くことがあります。その際は、後部にキャスター台（別売）や丈夫な板を敷いて調整をしてください（通常、板の厚さは2～3mmが目安です）。キャスター台のお求めは、お買上げの販売店にお問い合わせください。形名 MRPR-03CS

ドアの傾きについて

設置場所が水平でなかったり、設置から数日後、食品の重みで脚が沈んだりすると、ドアが下がってみえます（食品の重さは100kgを超えることがあります）。調整脚を図示の方向に回し再調整してください。



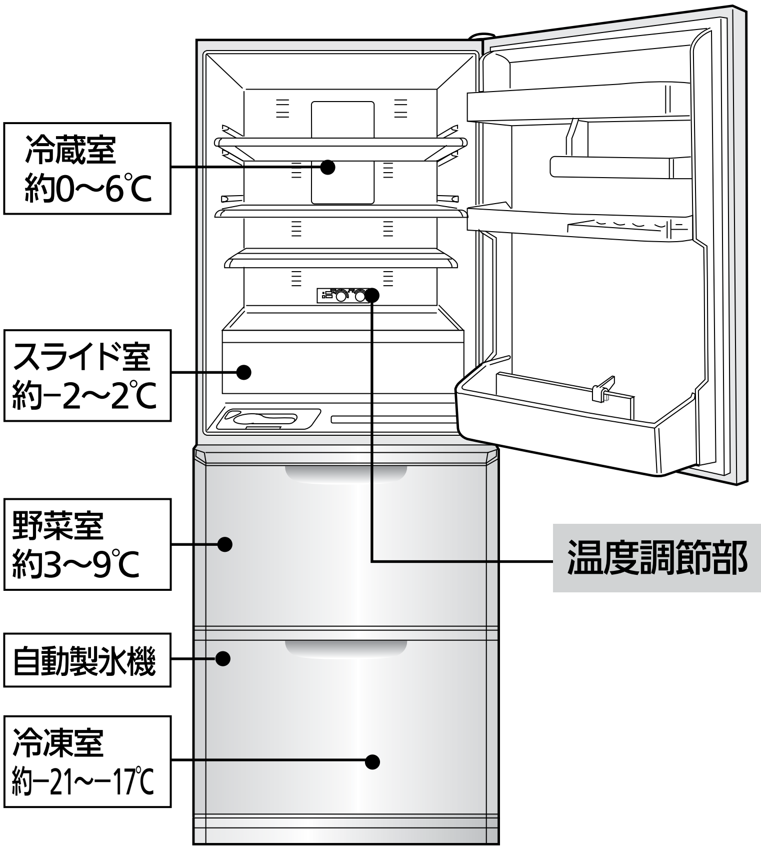
4 地震にそなえて



背面上部の手かけ（2カ所）に丈夫なベルトを通して、壁や柱など丈夫な所に固定することをおすすめします

冷蔵庫用転倒防止ベルト（別売）は、お買上げの販売店にご相談ください。
形名：MRPR-02BL〈2本組〉

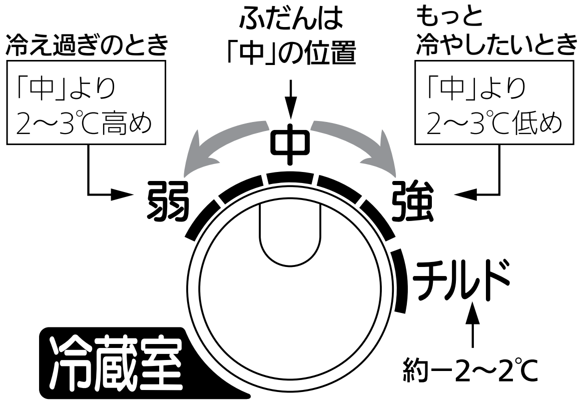
温度調節のしかた



※イラストはMR-C37Yです。
※表示温度は冷蔵室、冷凍室の温度設定を「中」の位置に合わせ、周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉め、温度が安定したときに、庫内のほぼ中央下寄りで測定した温度です。食品の収納状態やドアの開け閉めなどによって、温度は変動します。
※使い始めにプラスチックからにおいがすることがあります。念のため、においがこもらないように、お部屋の風通しをよくしてください。においはしだいに消えます。

製氷停止スイッチ
自動製氷を停止したいとき、
または再び製氷したいときに
押してください。 9ページ

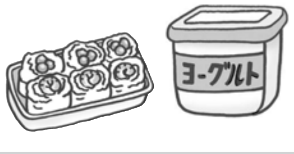
赤ランプ点灯…自動製氷停止中
赤ランプ消灯…自動製氷作動中

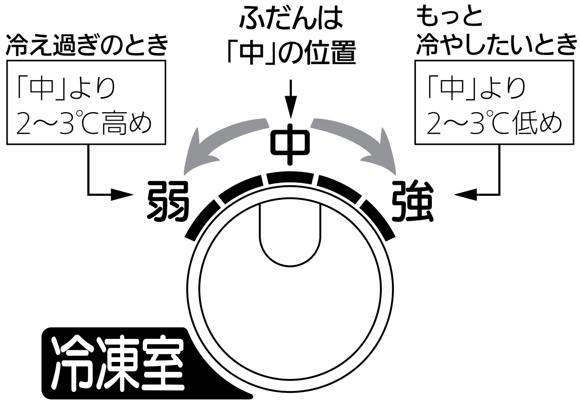


●冷蔵室の温度設定を変えると、スライド室と野菜室の庫内温度はともに変化します。

冷蔵室はチルドにも切り替えられます。

チルド
肉・魚・加工品（かまぼこ・シュウマイなど）・ヨーグルトなどの保存に。





お願い

早く冷やすために

冷えるまでに時間がかかるので、設置後すぐに電源を入れてください。
設置後、すぐに電源を入れても機械を傷めることはありません。

●食品はすき間をとって入れる。
●冷えていない食品やアイスクリームは、冷蔵庫が十分に冷えてから入れる。
●ドアの開け閉めは少なく、短くする。

最初の氷ができるまで
夏場の暑いときは、24時間以上かかることがあります。

ノンフロン冷蔵庫について

禁止	**冷媒回路（配管）を傷つけない、ねじなどを打たない** 可燃性冷媒を使用していますので、発火・爆発のおそれがあります。

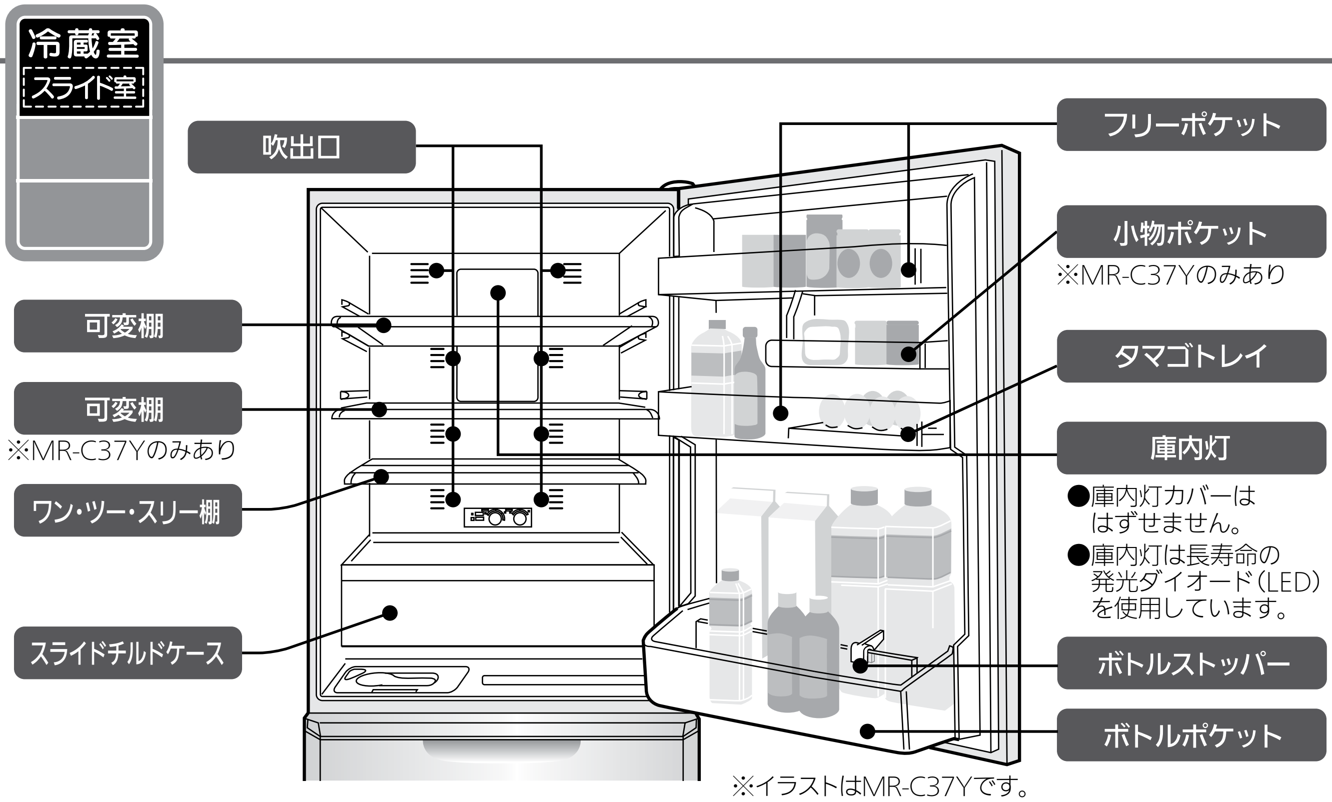
ドアアラームについて

ドアアラーム（“ピッピー”音）の鳴る回数で以下の状態を表します。

4回※	冷蔵室・冷凍室のいずれかのドアが1分以上開いています。ドアを閉めてください。

※ドアを開けてから1分経つごとに4回鳴り、5分経つと連続して鳴ります。
半ドア、食品の挟み込み（パッキング・ケースの後ろ側）がないかご確認ください。
●月に1度は点検してください。
●ドアを閉めた後もアラームが鳴るときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

冷蔵室・スライド室

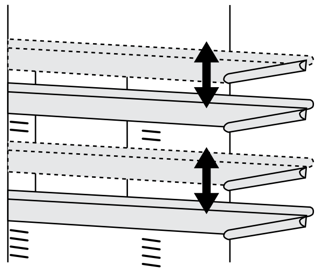


●庫内灯カバーははずせません。
●庫内灯は長寿命の発光ダイオード(LED)を使用しています。

※イラストはMR-C37Yです。

可変棚

棚の位置を調節して収納量アップ!



棚を引き出してはずし、お好きな位置に取り付けしてお使いください。

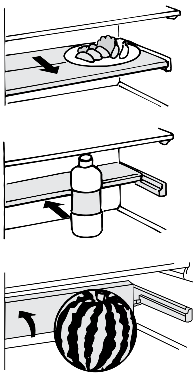
ワン・ツー・スリー棚

大きなスイカも丸ごと冷やせます。

1(ワン) 伸ばして

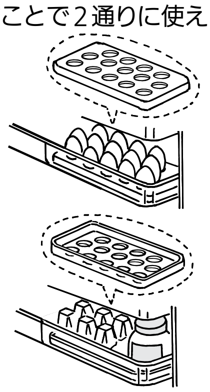
2(ツー) 押し込んで

3(スリー) 奥にたたんで



タマゴトレイ

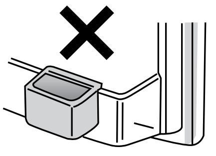
卵ケースと小物入れ。
裏返すことで2通りに使えます。



お願い

●食品は棚やポケットから飛び出させないように入れてください。
●ボトルポケットには、底まで入らないビン類を入れないでください。
●スライドチルドケースの手前に食品を置いたままドアを閉めないでください。
●スライドチルドケースは確実に収納してください。半ドアになって冷えにくくなったり、食品が落下したり、ケースが破損する原因になります。

●ポケットの外側に市販のケースなどを付けないでください。
●食品は上部まで積み上げず、天井と食品の間に冷気が流れるよう、すき間をあけてください。

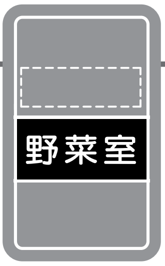


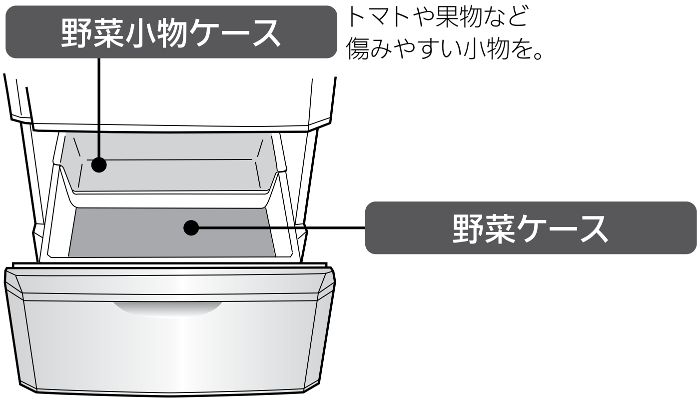
こんなときは

食品が凍結するとき

●周囲温度が5℃以下のとき…冷蔵室の温度設定を「弱」にすると凍りにくくなります。
●水分の多い食品や飲み物…吹出口付近から離して棚の手前側に置いてください。

野菜室・冷凍室





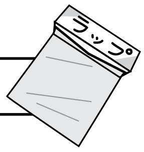
お願い

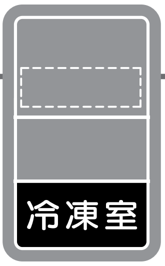
野菜ケースの食品は野菜小物ケースの床より下に入れてください

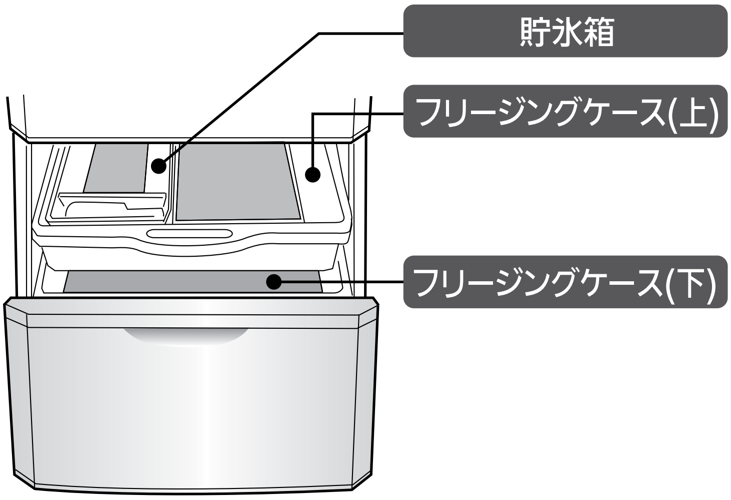
●食品を傷めたり野菜小物ケースを破損したり、ドアが閉まらず露付きや冷えが悪くなる原因になります。
●野菜小物ケースをはずして使うと、野菜室が乾燥します。

お知らせ

●野菜や果物は、ラップをすると新鮮さが長持ちします。

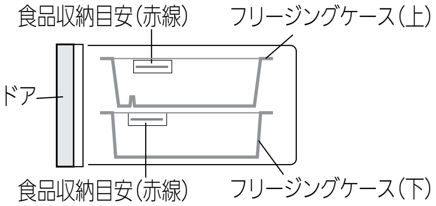






お願い

食品はフリージングケース側面のラベルの赤線より下に入れてください

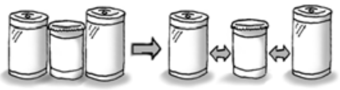


●ドアを閉めたとき、食品が当たって半ドアになったり、庫内に霜が付いたり、冷えなくなるなどの原因になります。
●食品やフリージングケース、自動製氷機を破損することがあります。

節電のヒント

節電の工夫

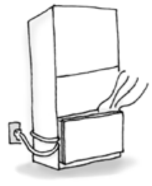
食品はすき間をとって入れる。



熱いものはよく冷ましてから入れる。

ドアの開け閉めは少なく、短く。

食品・ビニール袋・電源コードなどドアを閉めるときに挟まない。



わずかなドアのすき間でも、霜や露が付いたり冷えなくなったり、水たれが発生することがあります。

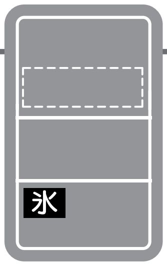
収納のポイント

拭いて

包んで

乾燥やにおい移りを防ぎます。

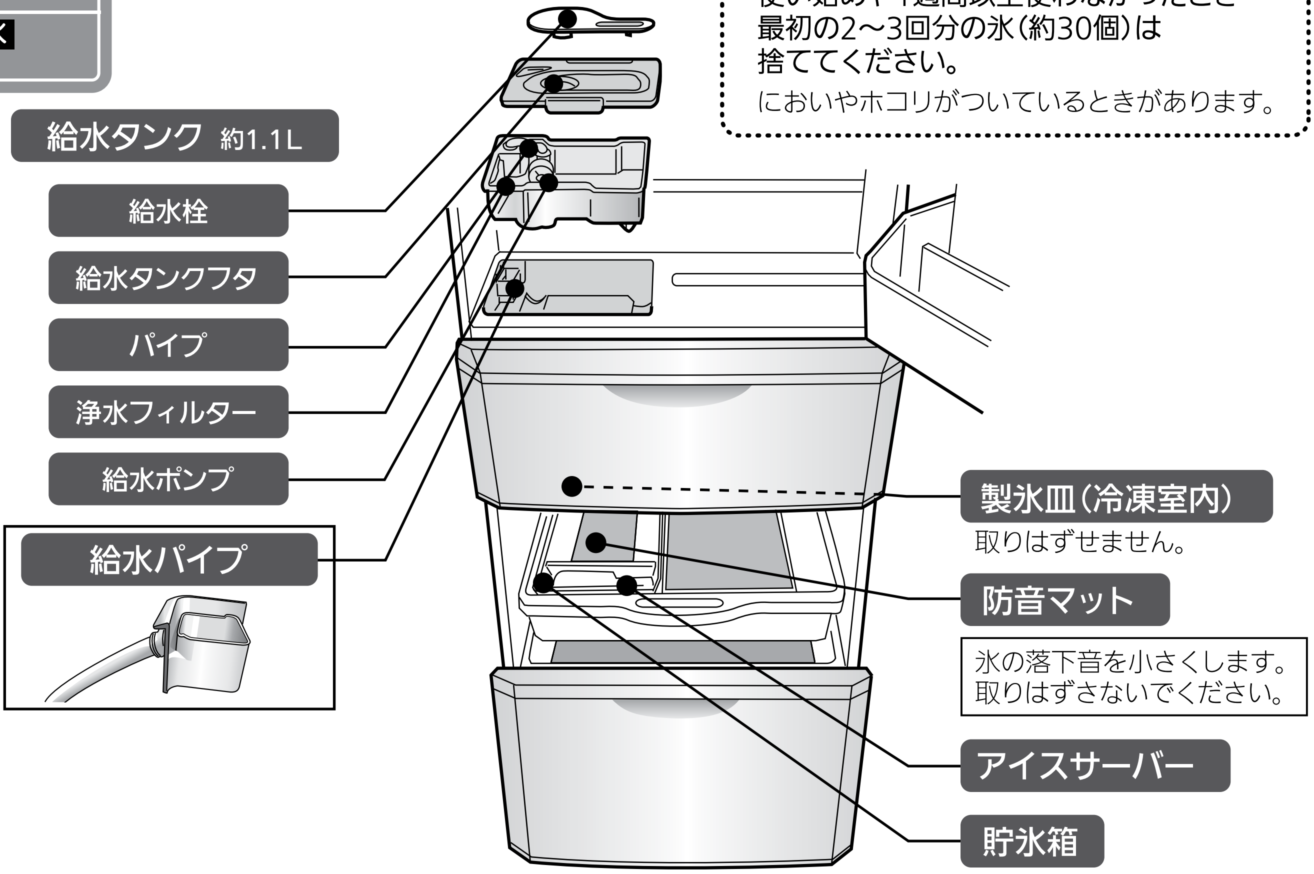
自動製氷機



使い始めの氷は

使い始めや1週間以上使わなかったとき
最初の2〜3回分の氷（約30個）は
捨ててください。

においやホコリがついているときがあります。



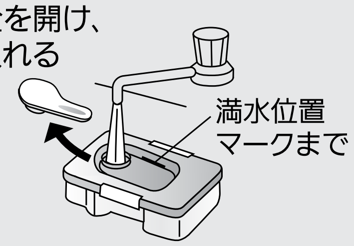
自動製氷機に使う水は

水道水など滅菌された水を使うことをおすすめします。

ミネラルウォーター、浄水器の水などをご使用のときは、
お手入れの回数を増やし、念入りにお掃除してください。 12ページ

氷の作りかた

1 給水タンクを取り出し、
給水栓を開け、
水を入れる

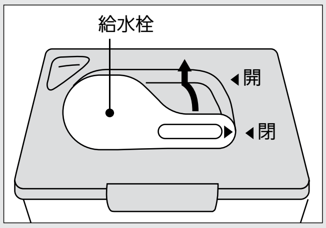


2 給水栓を閉め、給水タンクを
水平に持ちながら、元に戻す

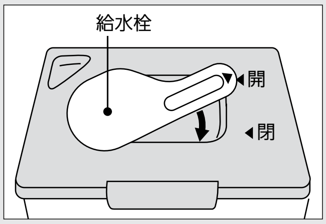
- ●給水栓を持つときは、「▶」マークを必ず「閉」の位置にしてください。
- ●タンクを傾けると水がこぼれます。
- ●給水タンクが浮いていると氷ができません。
  タンク受けに異物がないことを確認してください。

給水栓の開け方

「開」の位置まで回転し持ち上げる



給水栓の閉め方



製氷を停止したいとき

赤ランプが
点灯して
いないときに

製氷停止を押す。
赤ランプが点灯します。

●製氷停止中は赤ランプが
　点灯しています。

(冷蔵室奥温度調節部)

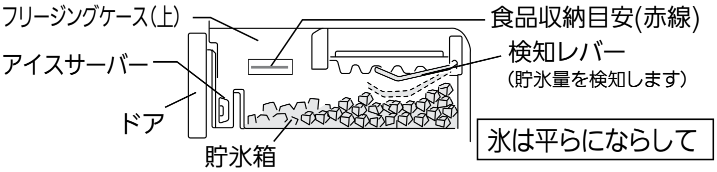
再び製氷したいとき

赤ランプが
点灯して
いるときに

製氷停止を押す。
赤ランプが消灯します。

お願い

貯氷箱の奥には物を入れない



●フリージングケース(上)側面のラベルの赤線より上に物を入れないでください。半ドアや自動製氷機の破損の原因になります。
●検知レバーが貯氷量を自動的に検知して、一定量になると製氷を停止します。貯氷量を正しく検知するため、氷は平らにならし、アイスサーバーは、貯氷箱手前の収納部に入れてください。
●氷を作るときは、貯氷箱に食品を入れないでください。検知レバーが接触し、破損することがあります。

給水タンクにお湯・ジュース・お茶・清涼飲料水など、水以外の物を入れない(耐熱温度約60℃)

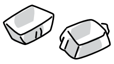
●水以外の物を入れると、自動製氷機や給水ポンプの故障の原因になります。

給水タンクに満水位置マーク以上、水を入れない

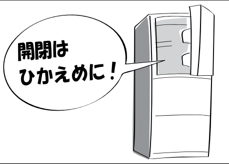
●給水タンクを冷蔵庫に取り付けたまま、やかんで水を注ぐなど満水位置マーク以上に水を入れると、つながった氷ができることがあります。
●くっついた氷をくだくときは手のケガに気をつけてください。

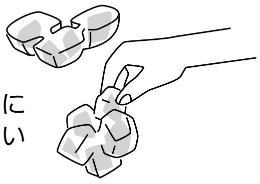
お知らせ

●ミネラルウォーターなどミネラル分の多い水で作った氷は白色沈殿物(白い結晶)ができることがあります。これはミネラル成分が結晶したもので害はありません。
●長時間氷を貯氷箱に入れたままにすると、氷と氷がくっついたり小さくなったりします (昇華という現象です)。



●ドアの開け閉めの頻度や周囲温度によって、製氷時間が長くなることがあります。



こんなとき	お確かめください。	こうしてください。こんな理由です。
全く製氷しない タンクの水が減らない 氷がなかなかできない 	①設置直後ではありませんか。 ②給水タンクに給水ポンプとパイプが正しく取り付けられていますか。 ③貯氷箱に食品やアイスサーバーなど放置されていませんか。 ④製氷の設定が「製氷停止」(赤ランプ点灯)になっていませんか。 ⑤給水タンクに水が十分に入っていますか。冷蔵庫が傾いていませんか。	①使い始めは冷えるまで4〜5時間、夏場は氷ができるまで24時間以上かかることがあります。 ②給水タンクに正しく取り付けてください(特にパイプの出口は、給水タンクに正しく取り付けてください)。12ページ ③氷がいっぱいあると判断します。貯氷箱から食品などを取り除いてください。また、氷は手前まで平らにならしてください。 ④「製氷停止」の赤ランプを消灯してください。9ページ ⑤1回の製氷数が少なくなることがあります。給水タンクに水を入れてください。8ページ 冷蔵庫を水平に設置してください。
氷に凸がある 氷が小さくなる 氷が溶けている 氷がくっつく	①氷に凸がある 2〜3個つながる。 ②長時間氷を貯氷箱に入れたままにしていませんか。 	①製氷皿に均一に水を流す水路があるためです。給水タンクには満水位置マーク以上水を入れないでください。8ページ ②長時間氷を貯氷箱に入れたままにすると、氷と氷がくっついたり小さくなったりします(昇華という現象です)。
氷に白いものができる	①ミネラルウォーターなどで氷をつくっていませんか。	①ミネラル分の多い水で氷をつくると白色沈殿物ができることがあります。害はありません。

付属品のはずしかたとお手入れ

ご使用の前に
使いかた
お手入れ
困ったときに

お手入れの前に

お手入れのときは、電源プラグを抜く
感電・ケガの原因になります。

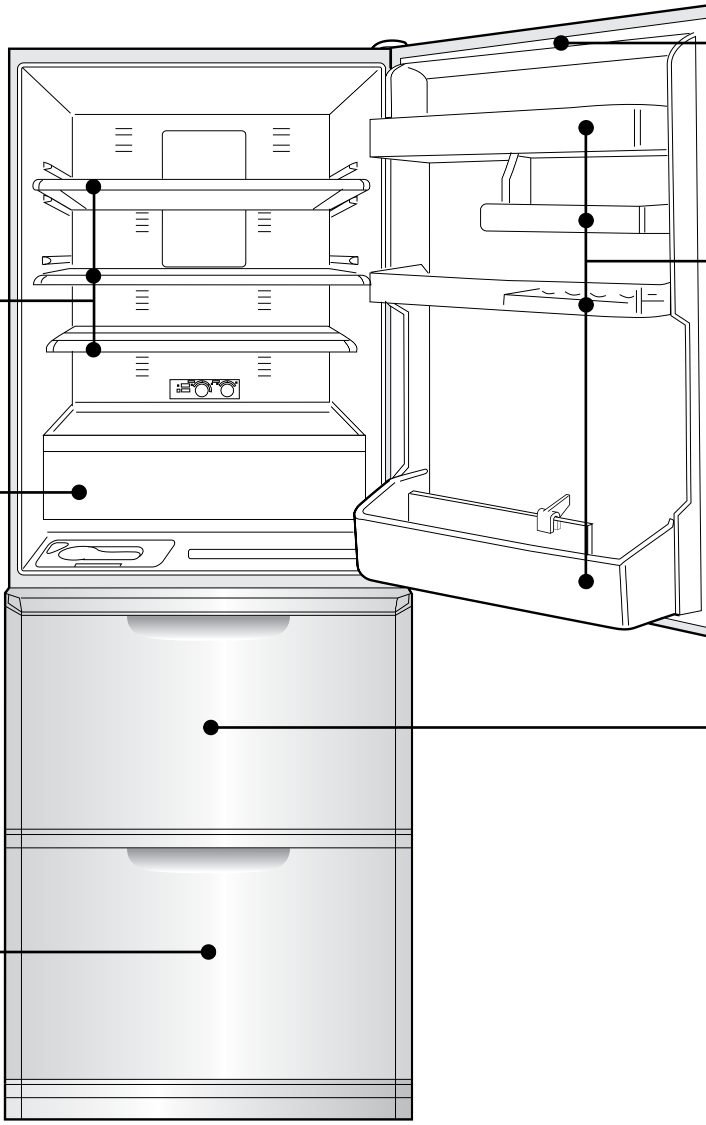
再度電源プラグをコンセントに差し込むときは、10分以上間をおいてから差し込んでください。すぐに差し込むと機械が動きません。

お手入れのしかた

●やわらかい布にぬるま湯を含ませて拭くか、取りはずして水洗いしてください。
●落ちにくい汚れは台所用洗剤（中性）をうすめて使い、水拭きで拭き取ってください。特に、油汚れや、かんきつ系の果汁は放置するとプラスチックが割れるおそれがあります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、付属の注意書きにしたがってください。

お願い

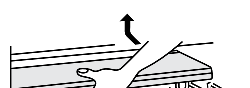
●アルカリ性/弱アルカリ性台所用洗剤・磨き粉・粉石けん・アルコール・ベンジン・シンナー・石油・酸・タワシ・熱湯などは使わない。
プラスチック部品（ドアの取っ手・キャップ、ケースなど）が割れたり、ドアや塗装面に傷やさびが発生するおそれがあります。



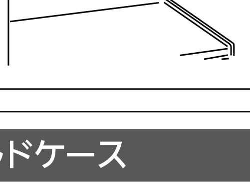
※イラストはMR-C37Yです。

冷蔵室

可変棚
引き出し、下に引く。

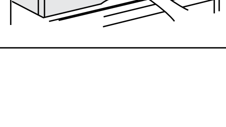


ワン・ツー・スリー棚
押し込んで持ち上げる。



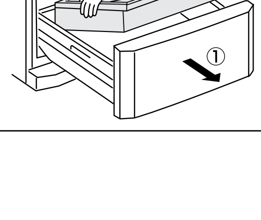
スライドチルドケース

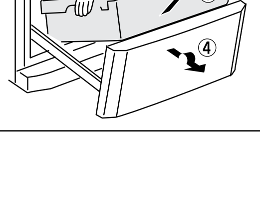
手前を持ち上げて引き出す。



冷凍室

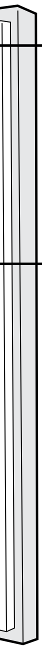
①ドアをいっぱいに引き出す。
②貯氷箱を持ち上げて取り出す。
③フリージングケース（上）を手前に持ち上げて取り出す。
④ドアを少し持ち上げながら引き出し、傾ける。
⑤フリージングケース（下）を手前に持ち上げて取り出す。





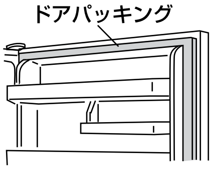
取付けは、はずしかたの逆の順序で行います。

分解・修理・改造をしない（禁止）
ケガ・感電・火災の原因になります。



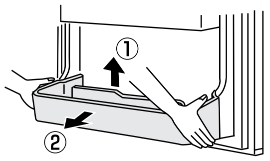
ドアパッキング

・汚れや汁を放置すると傷み、
冷気漏れの原因になります。
湿らせたやわらかい布で拭いたあと、
水分が残っていたら乾いた布で
仕上げてください。



フリーポケット・ボトルポケット・小物ポケット

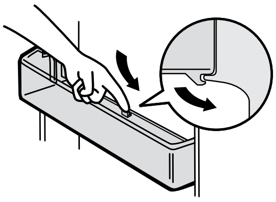
①左右を交互に持ち上げる
（取付けは固くしてあります）。
②手前に引き出す。



⚠注意
取り付けるときは、確実に取り付けられていることを確認してください。
・不十分だとはずれて落下し、ケガの原因になります。

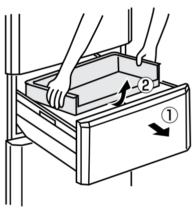
フリーポケットを取り付けるときのポイント

左右を途中まで差し込み、
フリーポケットの中央ツメ
部の上面を押してツメ部
をはめる。

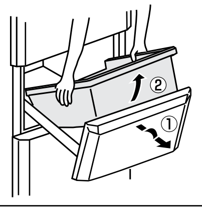


野菜室

野菜小物ケース
①いっぱいに引き出す。
②手前を持ち上げる。

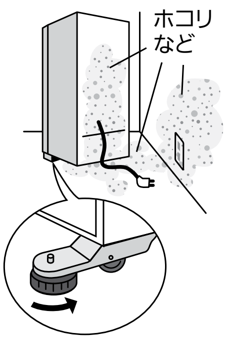


野菜ケース
①野菜小物ケースを取り出した後、ドアを少し持ち上げながら引き出し、傾ける。
②手前を持ち上げる。



冷蔵庫の背面・床

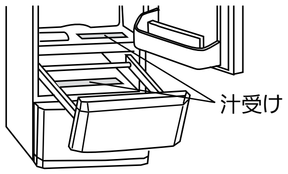
①脚カバーをはずす。
②調整脚を回して床から浮かし、冷蔵庫を手前に引き出す（床の傷つきをふせぐため保護材を敷くことをおすすめします。また、ケガのないよう注意してください）。
③背面、壁、床のホコリを取り除き、汚れを拭く（空気の対流でホコリがたまりやすく、黒く汚れやすい所です。省エネにもなるので、定期的にお手入れしてください）。
④床に水漏れがないか確認する。



冷蔵庫の下に手を入れない（禁止）
ケガをする原因になります。

汁受け凹部

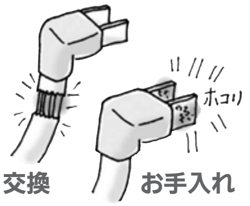
汚れや汁、結露を拭き取る。



お手入れの後に/定期的に

電源プラグとコードの点検

安全のため定期的にお手入れしてください。
①電源プラグをコンセントから抜いて点検する。
・電源プラグやコードに傷みや異常な発熱はないか。
②電源プラグと周囲のホコリをとり、乾いた布で拭く。
③電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。



電源プラグのホコリは定期的に取る（指示を守る）
絶縁不良になり、火災の原因になります。

自動製氷機のお手入れ

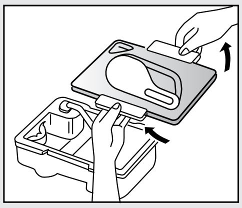
清潔でおいしい氷を作るために、
お手入れは定期的に。
水アカ、カビなどの発生を防ぎます。

※変形の原因となりますので、食器洗い乾燥機は使用しないでください。

週に1度のお手入れ

給水タンク

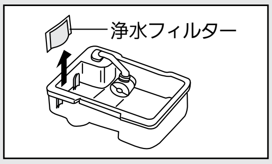
フタをはずして
水洗い。
（耐熱温度約60℃）



浄水フィルター

はずして水洗い。
通常は交換不要です。ただし、次のようなときは交換してください。

●水以外のものを入れるなどして目詰まりしたとき。
●破損したとき。
●カビなどが発生したとき。

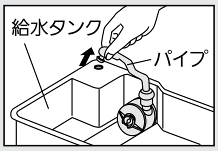


お求めはお買上げの販売店にお問い合わせください。

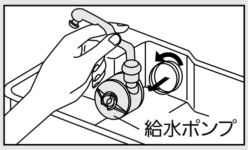
月に1度のお手入れ

給水ポンプ

1 タンクから引き抜く

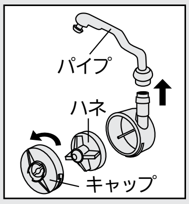


2 ポンプを回してはずす



3 パイプを引き抜き、キャップを回してはずし、ハネを取り出し水洗い

●ハネは磁石でできています。異物がないように、きれいに水洗いしてください。

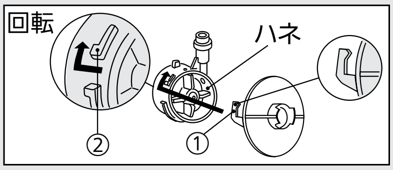


4 逆の手順で元に戻す

給水ポンプを組み立てるときのポイント

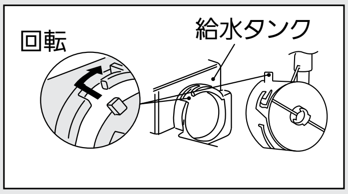
組立てが不十分なときは、製氷しなかったり音が大きくなることがあります。

1 キャップのツメ部（①）は給水ポンプの凸部（②）に回転して掛ける

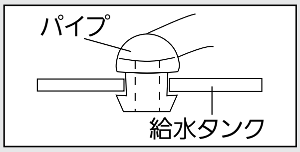


※内部にハネがあるか確認してください。

2 給水ポンプは給水タンクへ確実に回転して取り付ける



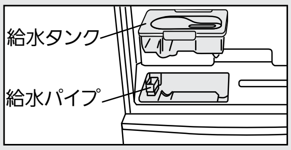
3 パイプを給水タンクの穴に差し込み、パイプと給水ポンプをつなぐ



※パイプとパイプ接合部に異物がないか確認してください。

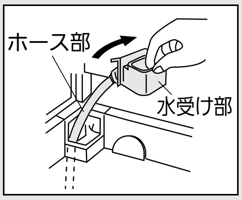
給水パイプ

1 給水タンクを取り出す

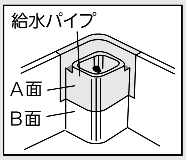


2 給水パイプを引き抜き流水で水洗い

●水受け部とホース部はつながっています。別々に分解することはできません。



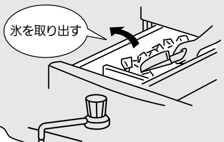
3 元に戻す



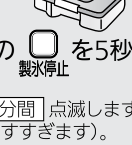
●給水パイプは、A面とB面の段差がないように確実に押し込んでください。
●給水タンクが浮くときは、給水パイプをセットし直してください。
●はずした状態や組立てが不十分なとき、水漏れなど故障の原因となります。

製氷皿をそうじする（すすぎ洗い）

1 貯氷箱の氷を取り出し、冷凍室のドアを閉める



2 給水タンクに水を入れ、取り付ける



3 冷蔵室奥の温度調節部の［製氷停止］を5秒以上押す（ピピッと鳴るまで）

■製氷停止ランプ（赤）が 約1分間 点滅します（給水タンクの水で製氷皿をすすぎます）。
■点滅が終って元の表示に戻ります。

4 2、3回 **3** を繰り返す。

5 フリージングケース（上）、貯氷箱を取り出し、水や氷を捨てる

●防音マットは捨てない

長期間氷を作らないとき ※移動・運搬するときも行ってください。

製氷皿の氷、または水を強制的に貯氷箱に落とし、製氷皿を空にします。

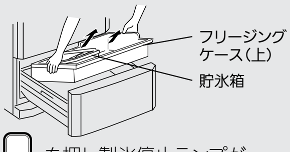
1 給水タンクを取り出し、冷凍室のドアを閉める

2 冷蔵室奥の温度調節部の［製氷停止］を5秒以上押す（ピピッと鳴るまで）

■製氷停止ランプ（赤）が 約1分間 点滅します（製氷皿の水や氷を落とします）。
■点滅が終って元の表示に戻ります。

3 フリージングケース（上）、貯氷箱を取り出し、水や氷を捨てる

●防音マットは捨てないでください。



4 製氷を停止する 9ページ

■製氷停止ランプ（赤）が消灯しているときは、［製氷停止］を押し製氷停止ランプが点灯していることを確認する。

5 給水タンク(給水ポンプ・パイプ・浄水フィルター)、フリージングケース（上）、貯氷箱、防音マットを水洗いし、よく乾燥させてから元に戻す

●再び氷を作るときは、［製氷停止］を押し、製氷停止を解除してください（製氷停止ランプが消灯します）。9ページ

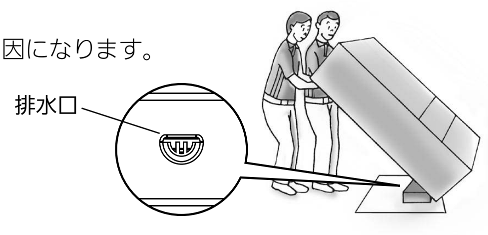
お願い

浄水フィルターのお手入れに台所用中性洗剤やベンジン、漂白剤などは使用しない。●氷のにおいの原因になります。
給水タンク・フタのお手入れに漂白剤を使用するときは、その注意書きにしたがってください。
給水ポンプはしっかり組み立てる。●不十分なときは、製氷しなかったり、音が大きくなることがあります。
給水タンクのフタを確実に取り付ける。●不十分なときは、はずれて給水タンク落下の原因になります。

こんなときは

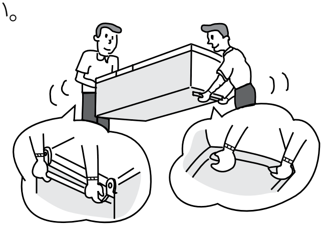
◆停電のとき
●ドアの開け閉めを少なくし、新たな食品の保存は避けてください。

◆長期間使わないとき
1. 自動製氷機を清掃する。12ページ
2. 電源プラグを抜いてから庫内を清掃し、2～3日間ドアを開けて乾燥させる。
   ※乾燥が不十分だと、カビ、においの原因および冷却器腐食による冷媒漏れの原因になります。



◆運搬するとき（引越しなど）
1. 給水タンクおよび製氷皿の氷や水を捨てる。12ページ
2. 保護具（軍手）を着用する。
3. 脚カバーをはずし、調整脚を回して床から浮かす。
4. 電源プラグを抜く。
5. 排水口の下および冷蔵庫の背面下の角部に布を敷き、水受け用の高さ3cm程度の容器やトレイなどを上に置く。
   ※布は床への水のこぼれや床の傷つきを防止するためのものです。
6. ゆっくりと後方に約30度以上傾け、背面下部の排水口から蒸発皿内の水を抜く（蒸発皿は外から見えません）。
   ※重いので2人以上で作業を行ってください。
   ※小さいお子さまや力に自信のない方は、作業をご遠慮いただき、運搬業者などにご相談ください。
7. 2人以上で、前面下部内側と背面上部の取っ手を持ち、静かに運ぶ。

●横積みはしない（圧縮機の故障の原因）。
●転居のときは、周波数の切替えは不要（50/60Hz 共用）。


前面 下部内側　　背面 上部取っ手

引越しなど長時間の移動をするとき

●運搬中に冷凍室奥の冷却器から霜が溶け出して、水がこぼれるおそれがあります。
電源プラグを抜いてから霜が溶けるまで1日程度かかることがあります。

◆移動するとき・向きをかえるとき
1. 調整脚を回して床から浮かす。4ページ
2. キャスターおよび後部の脚の下に床の保護材を敷いてください。
3. 前後方向に移動させる。　※前後方向以外に引きずると床を傷つけるおそれがあります。

禁止
冷媒回路（配管）を傷つけないようにする
可燃性冷媒を使用していますので、発火・爆発のおそれがあります。

霜取り	霜取りの操作と霜取りの水の処置は不要です。
庫内温度をはかる	冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理のもとで生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の設置状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は8割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。したがって一般の空気温度をはかる温度計は変化の少ない食品温度の正確な測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計を発売しています。ご購入の際は、お買上げの販売店にご相談ください。なお、一般のアルコール温度計で冷蔵庫内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mLの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。 ●庫内温度はドア開閉の少ない夜間などに温度計を入れ、翌朝最初にドアを開けたとき（温度が安定したとき）に測定してください。

冷凍室の性能について

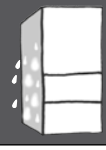
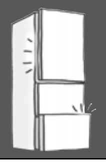
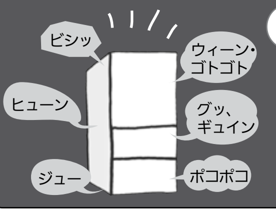
この冷蔵庫の冷凍室の性能は✳ ＊＊＊（フォースター）です。
冷凍室の性能は日本工業規格（JIS C 9607）に定められた方法で試験したときの冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

記　号	冷凍負荷温度（食品温度）	冷凍食品保存期間の目安
✳ ＊＊＊（フォースター）	－18℃以下	約3ヵ月

●JISの試験方法は次のとおりです。
（1）冷蔵室内温度が0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるよう調整して試験します。
（2）冷蔵庫の設置場所の温度は15～30℃の範囲を基準としています。
（3）冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内に－18℃以下に冷凍できる冷凍室をフォースター室としています。
●冷凍食品の保存期間
冷凍食品の保存期間は、食品の種類、店頭での保存状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、上の表の期間は一応の目安です。

故障かな？ と思ったら

以下のことをお調べになり、
それでも具合の悪いときは、
すぐにお買上げの販売店にご連絡ください。

こんなとき	お確かめください。	こうしてください。こんな理由です。
全く冷えない	①電源は供給されていますか。	①電源プラグが抜けたり、ブレーカーが落ちていませんか？
よく冷えない 製氷量が少ない 氷が溶ける 	①温度設定が「弱」になっていませんか。 ②設置直後ではありませんか。 ③周囲にすき間がなかったり、日が当たっているなど、放熱を妨げていませんか。 ④冷気の流れを妨げていませんか。またドアをひんぱんに開けたり、食品などを挟み、半ドアになっていませんか。	①温度設定を「中」または「強」にしてください。 ②冷えるまで4～5時間、夏場は十分冷えるまで24時間以上かかることがあります。 ③正しく設置しているかをご確認ください。 4ページ ④食品の間にすき間をあけ、棚からはみ出したり、引出しの天井に当たる食品を取り除いてください。しばらくドアの開け閉めを控えめにしてください。5、7ページ ドアパッキングが汚れたり破損していないかをご確認ください。
冷蔵室・野菜室の食品が凍結する 	①冷蔵室の温度設定が「強」または「チルド」になっていませんか。 ②水分が多い食品を棚の奥に入れていませんか。 ③周囲温度が5℃以下になっていませんか。	①冷蔵室の温度設定を「中」の位置にしてください。 ②豆腐・野菜・果物など、水分の多い食品や飲み物は手前側に置いてください。 ③冷蔵室・野菜室の食品が凍ることがあります。冷蔵室の温度設定を「弱」にすると凍りにくくなります。
外側や庫内に露が付く 冷凍室に 霜が付く 床に水が たれる 	①ドアをひんぱんに開けたり、半ドアになっていませんか。 ②雨天など高湿なときではありませんか。	①空気中の水分が冷やされると霜や露になります。わずかなドアのすき間でも霜や露が付いたり、露が床にたれることがあります。 7ページ ②一時的に露が付くことがあります。乾いた布で拭いてください。また冷凍室に霜が付きやすくなります。ドアを開ける時間を短くしてください。
ドアが開きやすい ドアが閉まらない 	①ドアが庫内の食品やケースに当たっていませんか。食品を詰め過ぎていませんか。 ②引出しドアのケースの奥に食品が落ちていたり、本体とドアの間に電源コードを挟んだりしていませんか。 ③設置にがたつきはありませんか。調整脚は床についていますか。	①ドアを閉めたとき、当たらないように収納してください。 ②挟まっているものを取り除いてください。食品・電源コード・ビニール袋などはドアに挟まないようにしてください。 ③調整脚を回して下げて、前側をやや上げ気味にすると閉まりやすくなります。 4ページ
においが気になる （食品・氷）	①においが強い食品をラップしないで入れていませんか。 ②給水タンクは汚れていませんか。	①においが強いと脱臭装置でとりきれないのでラップをしてください。 ②定期的にお手入れしてください。
テレビなどに 雑音が入る	①テレビなどの近くに冷蔵庫を設置していませんか。 ②アンテナ線の引込口の近くから冷蔵庫の電源を取っていませんか。	①テレビなどの機器から離して設置してください。 ②電源は単独で使用しアースを取り付けることをおすすめします。
音が大きい 気になる音がする 次のような音は異常ではありません 	①音が急に大きくなる。音色が変わる。 ②時々（1～2時間ごと）“ウィーン・ゴトゴト”と音がする。 ③電源を入れた後、製氷停止中に時々（1～2時間ごと）“グッ、ギュイン”と音がする。 ④ドアを閉めたときに“ヒューン”と音がする。 ⑤時々“ジュー”音や“ポコポコ”音（沸騰音）や“シャー”音（水が流れるような音）がする。 ⑥ドアを開けたときに時々、庫内から“ビシッ”音や水がたれているような音がする。	①設置直後、暑いとき、ドアの開け閉めが多いときなどに音が大きくなることがあります。 ②自動製氷の音です。給水タンクに水がなくても約100分ごとに自動製氷機とポンプの音がします。 ③自動製氷の動作チェックを行う音です。「製氷停止」中でもチェック動作を行います。 ④ファンモータが始動する音です。 ⑤冷媒の流れる音です。 ⑥中に暖かい空気が入り、プラスチックが膨張し、発生するキシミ音です。
外側が熱くなる 床から風が出る		冷蔵庫には側面や天井に放熱・露付防止パイプ、また下には放熱を促すファンがあるからです。 設置直後や夏場は、特に外側が熱く（約50～60℃）なったり下から温風がでることがあります。冷やすために必要な動作で異常はありません。

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

●「保証書」は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
●内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
●なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。
●一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載など）に使用されたときの故障および損傷は保証期間内であっても有料修理となります。

保証期間

お買上げ日から1年間です
（冷凍サイクル・冷却器用ファンおよび冷却器用ファンモーターは5年間です）。

補修用性能部品の保有期間

●当社は、この冷蔵庫の補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

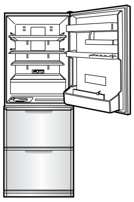
●お買上げの販売店か下記の「三菱電機ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」（9、14ページ）にしたがってお調べください。
なお、不具合があるときは、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しましては、「保証書」をご提示ください。
「保証書」の規定にしたがって販売店が出張修理させていただきます。
●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できるときには、ご希望により有料にて修理させていただきます。
●点検・診断のみでも有料となることがあります。
●修理料金は
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。
- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…商品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容



1. 品名　三菱ノンフロン冷凍冷蔵庫
　※ノンフロンであることをお伝えください。
2. 形名　冷蔵室ドアの内側に表示
3. お買上げ日　　　　年　　月　　日
4. 故障の状況　（できるだけ具体的に）
5. ご住所（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
　①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
　②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー　365日
フリーコール **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター 〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3 FAX (03) 3413-4049（有料）	**(03) 3414-9655**（有料）

■ご相談対応　平　日　9：00〜19：00
土・日・祝・弊社休日　9：00〜17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	**(03) 3424-1111**（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	**(06) 6454-3901**（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

K13A

仕様

種類		冷凍冷蔵庫	
形名		MR-C34Y	MR-C37Y
定格内容積	全体(リットル)	335L	370L
	冷蔵室 冷凍室 野菜室	182L 81L〈53L〉 72L〈41L〉	217L 81L〈53L〉 72L〈41L〉
外形寸法	高さ 幅 奥行	1678mm 600mm 656mm	1798mm 600mm 656mm
質量		64kg	67kg
電動機定格消費電力		89/97W	90/97W
電熱装置定格消費電力(霜取り時)		140/140W	140/140W
定格電圧・周波数		100V•50/60Hz共用	
消費電力量		冷蔵室ドアの内側に表示してあります。	
電源コード(有効長さ)		1.95m	
冷凍室の記号		✳・・・ フォースター	

■定格内容積の〈　〉内は「食品収納スペースの目安」です。

	付属品	個数	
	形名	MR-C34Y	MR-C37Y
冷蔵室	可変棚	1	2
	ワン・ツー・スリー棚	1	1
	スライドチルドケース	1	1
	給水タンク(浄水フィルターつき)	1	1
	フリーポケット	2	2
	小物ポケット	—	1
	タマゴトレイ	1	1
	ボトルポケット	1	1
	ボトルストッパー	1	1
野菜室	野菜ケース	1	1
	野菜小物ケース	1	1
冷凍室	フリージングケース(上)	1	1
	フリージングケース(下)	1	1
	貯氷箱	1	1
	防音マット	1	1
	アイスサーバー	1	1
	脚カバー	1	1

J-Moss (JIS C 0950:2008) の規定に基づき、対象となる6物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有についての情報を公開しております。
詳しくはホームページをご覧ください。
www.MitsubishiElectric.co.jp/jmoss/

冷蔵庫の内容積について

■定格内容積は、日本工業規格 (JIS C 9801:2006) に基づき、庫内部品のうち、冷やす機能に影響がなく、工具なしにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。この定格内容積には、食品収納スペースと冷気循環スペースを含みます。
■引き出し式貯蔵室 (例えば、冷凍室、野菜室等) の場合、定格内容積と併せ食品収納スペースの目安を表示しています。なお、回転扉式冷凍室の食品収納スペースについては、冷気の循環を考慮して定格内容積の65%程度を目安としてください。
食品の詰め込み過ぎは、庫内の冷えムラや電気のムダの原因となります。

節電について

ちょっとした心づかいで電気代が節約できます。
節電を心がけましょう。

- 麦茶など熱いまま入れていませんか?
- 必要以上にドアを開けていませんか?
- 冷やし過ぎていませんか?

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を!

こんな症状はありませんか

●電源コード、プラグが異常に熱い。
●電源コードに深いキズや変形がある。
●焦げくさいにおいがする。
●冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
●ビリビリと電気を感じる。
●その他の異常や故障がある。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの「冷蔵庫」を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客さまメモ サービスを依頼されるときに便利です。	お買上げ日 年　月　日	販売店名 電話(　　　)

三菱電機株式会社
静岡製作所〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3丁目18番1号

NZ79C465H01